

事業所職員からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和3年3月15日

事業所名 富山市恵光学園(児童発達支援事業 カンガルー教室)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		・現在あるスペースを最大限に使用できるような活動内容などを考え、安全面に配慮しながら環境設定を考えている。
	② 職員の配置数は適切であるか	4		・グループの利用人数に合わせて職員を配置している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		・スケジュールを視覚的に提示したり、パーテーションで空間を仕切る等の環境設定を行うなど、工夫している。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	4		・教室終了時に消毒、清掃、換気などを行い、環境を整えている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	4		・目標設定と振り返りを日々心掛けて業務に務めている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	4		・昨年度の評価表を基に改善してきた。今後も保護者のニーズ・教室へのご意見などを把握し、改善していきたい。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		・昨年度分から、学園のホームページにて公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	・必要に応じて検討していきたい。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・コロナ禍のため研修自体少なかったが、オンライン研修や学園の学習会など、様々な研修にできるだけ参加し、職員の資質向上を図っている。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		・アセスメントを行い、保護者のニーズを基に年2回児童発達支援計画を作成し、その都度評価をしている。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	・フォーマルアセスメントツールは使用していない。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		・子ども一人ひとりの支援に必要な項目「発達支援」「家族支援」「地域支援」を子どもの状況に合わせて設定している。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		・児童発達支援計画に沿った支援を心がけている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		・毎回、職員で話し合いを行い、活動等を決めている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		・グループに合わせて課題を設定し、固定化しないようプログラムを設定している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4		・個別活動(机上の課題)と集団活動のどちらも取り入れ、その子に一人一人に合った支援を行うようにしている。児童発達支援計画の中に盛り込んで作成している。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		・教室開始前に支援内容や役割分担について確認し、共通認識のもと支援をしている。
	⑱ 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		・カンファレンスノートを使用し、その日に行われた支援の振り返りを行っている。反省点や次回教室の改善、工夫点などを共有している。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		・教室終了後に必ず職員で個人記録を作成し、次の指導に活かすようにしている。
関	⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		・前期と後期2回のみであるが、課題の見直し等は必要に応じて職員間で行っている。
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1	・会議には、児発管、指導員が参加している。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4		・必要なケースによっては、関係機関と連携し、支援を行っている。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか		4	・該当する児はいないが、必要に応じて関係機関と連携を図りたい。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		4		・該当する児はいないが、必要に応じて関係機関と連携を図りたい。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		3		・保護者からのニーズがあった場合には、保護者同意のもと、支援内容等の情報共有している。
	②⑥	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		4		・保護者からのニーズがあった場合に連携し、移行支援会議を行っている。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4		・当事業所は、福祉型児童発達支援センター内にあるので、連携や助言を受けたり、一緒に研修を受けたりしている。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4		・子どもたちは保育所、こども園などに在籍しているため、事業所としては行っていない。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか		4		・相談支援事業担当者が中心に参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		4		・教室参加時や電話・メール相談等において、子どもの発達の状況や課題について保護者との情報共有を行っている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか		4		・一部の年長児保護者に向けたサロンの中で支援を行っている。今後は一部の保護者だけでなく、全体に提供できるような研修会なども検討していきたい。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		4		・契約時に説明を行い、必要時にはその都度、保護者に説明を行っている。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」びねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		4		・児童発達支援計画を作成(年3回)し、保護者へ説明し同意を得ている。
	③⑭	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか		4		・相談を受けた際には、速やかに対応できるよう心がけている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2		・父母の会は設けていない。一部の年長児保護者に向けてサロンを行っている。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		4		・必要に応じて相談員と連携し、迅速かつ適切に対応するよう心掛けている。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		4		・会報等は作成していないが、活動内容・ねらいなど記載した用紙を保護者に配布している。
	③⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか		4		・取り扱いには、十分注意している。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		4		・大人が見本となって伝えたり、仲介したりすることで配慮している。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		4		・総合火災避難訓練に参加している。 ・避難場所については教室内に掲示している。 ・マニュアルは作成しファイルを教室内に設置している。保護者に周知するようにしたい。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		4		・職員は通園部の避難訓練に参加している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		4		・保護者からアセスメントする中で対応している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4		・保護者からアセスメントする中でアレルギーについて対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4		・教室中にヒヤリハット事例があった場合は記録として残し、通園部と共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		4		・園内研修に参加している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		3		・保護者へ事前に説明し、書面にて了解を得ているが、児童発達支援計画への記載はしていない。今後検討していきたい。